

この申立書の写しは、法律の定めるところにより、申立ての内容を知らせるため、相手方に送付されます。

収入印紙 円		予納郵便切手 円	家事 ☐ 調停 ☐ 審判 申立書 事件名 ☐ 婚姻費用分担請求 ☐ 婚姻費用増額請求 ☐ 婚姻費用減額請求 (この欄に申立て1件あたり収入印紙1, 200円分を貼ってください。 貼った印紙に押印しないでください。)

家庭裁判所 御中 年 月 日	申立人 代理人の 記名押印	印
----------------------	---------------------	---

添付書類	(審理のために必要な場合は、追加書類の提出をお願いすることがあります。) ☐ 戸籍謄本 (全部事項証明書) (内縁関係に関する申立ての場合は不要) ☐ 委任状 ☐ 申立人の収入に関する資料 ☐	準口頭

申立人	住所	〒 —	
	フリガナ 氏名		大正 昭和 年 月 日生 平成 (歳)
代理人	事務所		
	住所		
	氏名		
	連絡先	TEL	FAX
相手方	住所	〒 —	
	フリガナ 氏名		大正 昭和 年 月 日生 平成 (歳)
	相手方に代理人が就任する可能性 ☐ 有り / ☐ 無し・不明		
未成年の子	住所	☐ 申立人と同居 / ☐ 相手方と同居 ☐ その他 ()	年 月 日生
	フリガナ 氏名		(歳)
	住所	☐ 申立人と同居 / ☐ 相手方と同居 ☐ その他 ()	年 月 日生
	フリガナ 氏名		(歳)
	住所	☐ 申立人と同居 / ☐ 相手方と同居 ☐ その他 ()	年 月 日生
	フリガナ 氏名		(歳)

申立ての趣旨	
(☐ 相手方 / ☐ 申立人) は、 (☐ 申立人 / ☐ 相手方) に対し、婚姻期間中の生活費として、次のとおり支払うとの (☐ 調停 / ☐ 審判) を求める。	
※	1 毎月 (☐ 金 円 / ☐ 相当額) を支払う。 2 毎月金 円に増額して支払う。 3 毎月金 円に減額して支払う。

同居・別居の時期			
同居を始めた日…	☐ 昭和／ ☐ 昭和・平成	年	月 日
別居をした日 …	☐ 昭和／ ☐ 昭和・平成	年	月 日
婚姻費用の取決めについて			
1 当事者間の婚姻期間中の生活費に関する取決めの有無			
☐ あり（取り決めた年月日： 年 月 日） ☐ なし			
2 1で「あり」の場合			
(1) 取決めの種類			
☐ 口頭 ☐ 念書 ☐ 公正証書 ☐ 調停 ☐ 審判 ☐ 和解			
☐ 判決 → 家庭裁判所 (☐ 支部／ ☐ 出張所) 年 (家) 第 号			
(2) 取決めの内容			
(☐ 相手方／ ☐ 申立人) は、 (☐ 申立人／ ☐ 相手方) に対し、 年 月から まで、毎月 円を支払う。			
婚姻費用の支払状況			
☐ 現在、毎月 円が支払われている（支払っている）。			
☐ 年 月まで毎月 円が支払われて（支払って）いたが その後 (☐ 円に減額された (減額した)) 。／ ☐ 支払がない (支払っていない))			
☐ 支払はあるが一定しない。			
☐ これまで支払はない。			
婚姻費用の分担の増額または減額を必要とする事情（増額・減額の場合のみ記載してください。）			
☐ 申立人の収入が減少した。 ☐ 相手方の収入が増加した。			
☐ 申立人が仕事を失った。			
☐ 申立人自身・未成年者にかかる費用 (☐ 学費 ☐ 医療費 ☐ その他) が増加した。			
☐ その他 ()			